

「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」もしくは「人生会議」という言葉をお聞きになったことがありますか？意思決定能力が低下する前から、本人の意思を尊重しながら、ご家族および医療介護者が一緒になってケア全体の目標や具体的な治療・療養方針について話し合うことを言います。簡単にまとめると“もしものときのための話し合い”です。

従来日本では、「死」について語ることは縁起でもないという理由から避けられる傾向にありました。しかし、人生の最後は必ず誰にでもやってきます。元気で決定能力のしっかりしている時から、「何を大切にしたいのか？」「どのように生きていきたいか？」「どんな場所でどのような最期を迎えたいのか？」こうした希望を繰り返し話し合うことは、自分らしい、より良い人生を全うしていくことにつながっていきます。

当院では、館林邑楽地区オリジナルの『もしものときに想いを伝える手帳』（愛称：MOTTE）作成のお手伝いを行っております。どうぞお気軽にご相談ください。